
ムーチカ・ミーチカ

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ムーチカ・ミーチカ

【Nコード】

N5787K

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

ムーチカ・ミーチカは母親に捨てられた……。

「おねえちゃん。お腹へったよう」

「待ってな。もうすぐ母ちゃんが来るから」

ちよつとトイレへ行つてくるわと言ったきり戻らない母。街頭時計はすでに8時を指している。

要するに母は子らを捨てたのだ。父親が他界し早や数年。最初ががんばっていたが病気をしてしまった。国からの支援もほとんどない。そんなわけで……。

かどうかはわからぬが、とにかく、ムーチ力とミーチ力は捨てられたのだ。

「おうち、帰りたいよう」

「わがまま言わないの」

「やだ。やだ。おうち帰りたい。わあああん」

「ミーチ力のバカ！」

家に帰っても誰もいないのだが。母親はすでに夜行で旅立っている。

ムーチ力とミーチ力は何かおかしいと気づいたが幼いので何がおかしいかよくわからず、ひとまずお腹がすいてすいてたまらないのでこれを何とかしなくてはならないと思った。

「ミーチ力、コンビニ行こう」

「え。おねえちゃん、お金持ってるの」

「ないよ」

こうなりや万引きするほかないってわけだ。

「いらつしやいませー」

ムーチ力とミーチ力はびくびくしながら弁当コーナーへ回る。

店員のおねえさんは何か様子がおかしいかと気づく。

しばらく、ムーチ力とミーチ力はどれにしようかなどれにしようかなと悩んでいた。

そして、決めると急いで弁当を服の中に隠した。
ばればれ！

おねえさんはちょっとぶぶときた。何これ。お腹ふくらんでてばればれやんけ。

大笑いしそうになったが、いかんいかんと。きつとちびつこら切実な事情があるんだ。ようかわからんけど、笑ったらいかん。

とはいえ、今事務室には店長がいる。ここで注意したら店長に見つかる。この店長は鬼店長だ。というわけでもないけど、最近不況でけっこう万引きが多いので、ちびつこといえども警察に突き出すだろう。とはいえ、注意しないと、ちびつこたちの犯罪を黙認したことになる。うーむ。

おねえさんはムーチカミーチカと目が合った。怯えた目をしてる。早く何か考えないと。

あ。

おねえさんはモップを持ってレジから出た。

「あーあ。そうじかつたるいなあ」

そう言いながらそうじを始め、ポケットから千円札を落とした。

あわてて拾うムーチカ。

「あのおねえさん。これ。これっ」

おねえさんはムーチカにウインクした。

ムーチカはどういう意味だろうとときまぎした。

そして、おねえさんは、そのまま何事もなかったかのように「あー忙しい。あー忙しい」と独り言を言っただけで向こうへ行ってしまった。

その頃、ムーチカとミーチカの母親を乗せた夜行列車は脱線事故を起こし、母親は即死であった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5787k/>

ムーチカ・ミーチカ

2010年10月21日23時42分発行